

重点意見・要望と回答その2

今年度の町政座談会開催の様子を、本紙八月号に掲載しました。このコーナーでは、前回紙面の都合上掲載しきれなかった質問・回答内容について、要約してお知らせします。

三成地区\*

生活基盤整備について  
役場庁舎の新築とシンボルゾーンの確保

斐伊川の河道環境整備  
「水辺の楽校」の復旧と堆積土砂対策

町立集会所の維持管理  
(指定管理者制度について)

庁舎の建設は、合併特例債が活用できる平成二十六年までに、財政計画を十分に行った上で実施します。

また、タウンホールとしての機能はもとより、防災センター的な要素、「まちづくりの観点からシンボリックなゾーン、町の駅として地域住民の憩いの場として」のご提案も頂きました。

本年中に策定する総合計画との整合性も図りながら取り組みます。

(総務課)

三成地区の斐伊川水辺の楽校

は設置後二十年近く経過し、河川堆積土が前面を覆うなど利用上も支障となる状況が見られます。仁多土木事業所と協議し、安全で快適に利用できるよう河川内も含め、対策を要望して参ります。

(建設課)

指定管理者制度については、平成十五年の法改正に伴い導入し、従来から管理運営の委託契約を締結している特定の町有集会所施設については、公募方式をとらずそのままの契約状態を維持し「指定管理者」の議会議決を経た状況となっております。

今後は、これまでの経過と最近の集会所建設手法や管理運営の主体などについて、指定管理者である自治会の皆様と十分協議させて頂きたいと考えております。

(総務課)

よりよい(豊かな)町づくりとしての小学校建設を

危険校舎の解消と小学校の再編を見据えた計画

「生きる力」を培うための充実した設備とゆとりある空間

学校関係者及び地域住民のニーズ掌握と具現化

保・幼・小の連携を強化する「幼児園」

本町の学校教育施設棟数は幼稚園を含め四十九棟あり、その内十棟が今後耐震補強又は大規模改修等が必要です。

三成小学校普通教室棟も大規模改修・改築対象です。

改修等が必要な建物は、重点施策として年次的、集中的に行う考えです。

小学校再編との関係では、小学校体育館は、地域の社会体育・集会施設、防災拠点施設としての役割も考慮し整備する必要がありますが、校舎建設については、学校再編に係わる地域の皆様の考えや実態、将来的な見通しを勘案し取り組む必要があると考えます。

(教育総務課)

学校教育に課せられた今日的課題は、特別支援教育、キャリア教育、食育教育、読書教育への対応・充実と、多岐多様化しています。

三成小学校は仁多地域の中心的役割もあり、この点も考慮し環境整備充実を検討します。

(教育総務課)

これまでも各小中学校の改修等について地元学校関係者、振興会、後援会と協議を重ね、地元からの積極的な支援・協力を感謝しています。

今後同様に情報を提供し、共通認識を図りながらご意見、ご要望を活かして参ります。

(教育総務課)

現在の保育所・幼稚園の施設を有効利用しながら、就学前の保育・教育に加え、育児相談・放課後児童クラブなど子育て支援機能の充実を図り、小学校との連携を強化していきたいと考えます。

(子育て支援室)

亀嵩地区\*

亀嵩公民館の改築について

現在の公民館は昭和六十一年に建築され、会議室は二階に、トイレは一階にあります。高齢化により階段の上り下りが困難になっています。また、耐震面で現在の基準に達していないと判断しています。

高齢者社会を迎え地域住民の活

鳥上地区\*

観光行政の充実

鳥上地区には、多くの観光名勝・施設やソバを主体とした食事処や民宿が有り、観光客などから道を聞かれることが近年多くなりました。

来町者に鳥上地内の観光地、関連施設、及び仁多米・仁多牛などの産物をアピールできる観光案内等の標識の設置を要望します。併せて斐乃上温泉のPR看板の設置も要望します。

船通山登山者は年々増えており、特にカタクリの花の季節になると登山者が多くなり、駐車場とトイレが手狭となっています。また、山頂のトイレは機能していません。

観光振興の面からも、登山口駐車場とトイレの整備、また、山頂トイレは環境に配慮したバイオマス利用のトイレを要望します。

看板については、サイン計画に基づき、町内の看板を統一する作業の中で検討します。

(地域振興課)

ピーク時の駐車場確保については、今後検討します。 亀石登山口トイレは、県におい

頂きたい。

OB選出も含め、早急に町消防団として総合的な改革を要望します。

県消防操法大会には、横田と仁多で二チーム出場しています。が、予算縮減、長期にわたる訓練において町民及び団員の生活に大きく負担を掛けています。一チームの出場で良いのではないのでしょうか。

人員の見直しについては、組織体制を再検討し、昨年、六百七十一名から六百十五名に定数削減しました。

しかし、部の再編については、火災発生時の初動体制の重要性から、大幅な削減には十分な検討が必要で

地域防災活動の中でも、消防OBの方の協力体制づくりに向け、消防団と協議したいと考えます。

(総務課)

県大会出場は消防団にとつて、士気高揚と消防技術・消防精神の練磨等、団の結束力を強固なものとする為に重要な場となっております。ご理解ご協力をお願いいたします。

(総務課)

安全で安心して住める奥出雲町に

動拠点として公民館の重要性は益々拡大するものと考えますので、「人にやさしい」公民館の改築を要望します。

亀嵩公民館は、昭和五十六年以降の新耐震基準で建築されており、耐震上は問題ないとされています。

パリアフリー等を含む公民館の改築計画については、他地区の公民館の耐震診断の結果等も踏まえ、順次整備する計画です。

(生涯学習課)

JR亀嵩駅舎の改築と周辺整備及びバス停の設置

亀嵩駅は、便所もなく、建物も大変古く、観光客誘致を目指す玄関駅としてはふさわしくないとされています。

また、高校生が夜間帰宅するのに駅周辺が暗く、防犯上も問題があり、周辺整備をお願いします。

駅舎は老朽化が進んでいますが、JR等関係者と協議の上、バス待合所設置も含めて総合計画の中で今後検討します。

(地域振興課)

消防団の人員見直しについて  
近年団員の欠員が発生し、団員選出に苦慮しています。部の統合等により人員削減を考えて